

愛育ながさき

Ai-iku-Nagasaki 68号

発行所/一般社団法人長崎県手をつなぐ育成会
発行者/竹内隆伯 発行日/令和8年4月20日
〒852-8104 長崎市茂里町3-24
長崎県総合福祉センター県棟4F408号
Tel:095-846-8730/Fax:095-846-8738
E-mail:info@ikusei-nagasaki.jp

キャラバン隊スキルアップ 及び結成促進研修

～たつの市から矢野氏をお迎えして～

島原がんぼ隊～結成から現在～

令和8年度事業計画

理事会報告

定期総会ご案内



図書館
Library

輝らっ人

知っていますか？
ペアレントメンター

長崎市立図書館

令和7年度 キャラバン隊スキルアップ及び結成促進研修



3月2日、諫早市社会福祉会館2階多目的ホールにて、兵庫県たつの市のキャラバン隊“ぴーす&ピース”の矢野一隆氏をお招きし、「令和7年度キャラバン隊スキルアップ及び結成促進研修」が開催されました。現在県下で活動している「がんば隊」(島原市)、「よかよか隊」(長崎市)、諫早市のキャラバン隊を含む14名が受講しました。

“ぴーす&ピース”は平成16年度に結成されており、親中心に結成されるキャラバン隊が多い中、本人含む育成会員・地

域の方・行政職員・社協職員というメンバー編成で、「面白く、楽しく、分かりやすく」をモットーに活動されています。その中心ともいえる矢野一隆氏は現在全国手をつなぐ育成会連合会で啓発キャラバン・Web推進委員会のリーダーも務められており、関西弁の軽妙な語りで全国あちこちから講演の依頼を受けられています。障害のある娘さんのエピソードを語りながら身近な地域でこそ知的障害や発達障害の理解者を増やすことの必要性や障害について知らない人・関心のない人に興味を持ってもらうことこそキャラバン隊の本懐であると話されました。

実際に“ぴーす&ピース”のプログラムも体験させていただき、自分たちのプログラムとの違いや話の進め方、話術など勉強させていただきました。後半ではグループで話し合いながら、矢野さんにも直接質問させていただいたり、アドバイスをいただく時間もあり、非常に親しみやすい矢野さんのお人柄のおかげで終始和やかな研修となりました。(長崎よかよか隊 吉井 裕子)

研修に参加して

最初に驚いたことは、3時間の研修を矢野さんがおひとりでされたことです。私は、よかよか隊活動に参加して3月で1年になり5回出勤しています。メンバーは、3~4人の構成のためちょっと!?ミスしても安心感がありますが毎回、緊張感があり日々勉強中です。そんな中、今回の研修は、私にとってはタイミングよく参加出来ました。

盛りだくさんの内容の中で印象に残ったのは、矢野さんが心がけていることで、「聞いている方は、一回限りのお客様で素人と思うこと。当事者の真似はしないこと、時間内に終わること」そして、「親としての経験談の中に成功例や失敗例を混じえながら話すこと、重くならず淡々と伝えること」などです。なるほどっ!とスーッと入ってきて理解できました。

また、矢野さんを囲んでの懇親会では距離感が近く、お客様の反応や全国の育成会メンバーとの関わりなど、経験談を興味深く聞かせていただきました。そして、ご家族の話が出ると優しさあふれる笑顔が印象的で心温まる時間を過ごすことが出来ました。(長崎よかよか隊 田中 祐子)

研修会は、『たつの市手をつなぐ育成会ぴーす&ピース』矢野氏によるとてもおもしろくて笑いの絶えない楽しい講座でした。

3時間の研修の中で矢野氏が話された「笑いをとる」「舞台は生き物と認識する」「抵抗勢力はあると思え」「泣かせると負け」の言葉はとても印象に残っています。また、10年前結成してから今までの体験や具体的な内容(メンバー構成など)を教えていただき、とても参考になりました。

疑似体験では、普段自分たちが講座をしているので内容はわかっているはずなのに、オリジナルな部分と矢野氏の笑いを交えたトークでとても新鮮に楽しく参加する事ができました。その後のグループ討議では、がんば隊のメンバーからアイデアや意見を聞くことができ、メンバーみんなで、スキルアップを目指して頑張れそうです。楽しい講座をありがとうございました。(島原がんば隊 前田 幾美)



島原がんば隊 結成から現在まで

私たち“島原がんば隊”は、令和5年3月、長崎よかよか隊による啓発キャラバン隊の勉強会へ参加し、結成に向けての準備や心構えなどのアドバイスをいただき、結成への第一歩を踏み出しました。

6月には島原市育成会会員と職員計5名・他法人職員4名の9名でキャラバン隊実行委員会を行い、知的発達障害理解啓発研修に参加したことがない方もいる中で、啓発研修の動画視聴や実際のプログラムを体験したり、またキャラバン隊結成の目的等を話合いました。

島原の方言でフグの事を“がんば”と言うのですが、フグは縁起を担いで「福」につながる「ふく」とも呼ばれていること、また「がんば」は「頑張る」という意味もあり、実行委員会では隊員のアイディアで島原らしい名前に決定することが出来ました。その後、長崎よかよか隊の研修の見学や、助手・パソコン操作等での参加を経て練習を重ね、いよいよ本番を迎えることになりました。(長崎よかよか隊のみなさん、色々なアドバイスや相談にも乗っていただき、いつもありがとうございます！)

がんば隊として初出勤は、令和6年2月、島原特別支援学校小中学部の保護者を対象とした約1時間のプログラムでした。隊員6名はとても緊張していましたが、終わった後はそれぞれ達成感があったのではと思います。アンケートの結果も「分かりやすかった」「これからも活動を頑張ってください」とありがたいご意見が多く、次に向けてのモチベーションが上がりました。

それを皮切りに、島原警察署での職員研修や島原市立大三東小学校で5年生を対象とした福祉体験の一つとしての体験学習会、まなぼう会(初任者研修)や法人内研修を実施し、少しずつですが、がんば隊としてのチーム力が上がってきたように思います。それから、長崎県手をつなぐ育成会主催の知的障害理解啓発研修では初めて島原がんば隊で約100分のプログラムを実施し、練習とは違う参加者の方々の予想外の反応に、まだまだ余裕が無い時もありますが、自分たちが楽しみながら、がんば隊らしい個性を発揮し、障害理解を広める活動を行っていきたいと思います。(島原市手をつなぐ育成会 島原がんば隊 松本 恵)



活動してみて

啓発キャラバン隊を島原市手をつなぐ育成会でいきますとの話を聞いて、自分も少しでも何かお手伝いできることがあればと思い参加しました。よかよか隊さんの研修を2回程見学させていただき、参加されているみなさんの真剣な眼差し、時には笑顔や笑い声、自然と自分も引き込まれていき、楽しく勉強させていただきました。

初出勤では、何度も練習を重ねていたにもかかわらず、声も震えていて、ものすごく緊張した事を覚えています。そして2回3回と研修を重ねるごとに、少しずつではありますが、メンバーとともに成長できているのではないかと思います。参加してくださった方々から、「感覚・視覚・聴覚過敏の体験や研修を通してわかりやすく学びました」との感想を聞きとても嬉しかったです。まだまだ未熟な私ですが、これからもがんば隊の1人としてメンバーと共に「ゆっくり、優しく、丁寧に」を心掛けて笑顔で啓発活動を行っていきたいと思います。(鈴木 ひろ子)



わが家の長男(24才)に知的障害があり、色々なところでお世話になり親として何か恩返しが出来ないかな、という思いがあり、丁度がんば隊が結成されることを聞き、参加することにしました。私も60才を迎えたのですが、長崎よかよか隊の女王様をまねて、がんば隊では赤い王冠と赤いマントを準備し、還暦王子としてデビューしました。

それから、島原警察署での理解啓発研修では、王子としての出番はなかったのですが、発達障害のある子が書いた作文を読む場面で、とても緊張したのを覚えています。これからはがんば隊のオリジナルプログラムも加えて頑張ろうと思います。また、研修を体験された方々より、「障がいについて知ることが出来て良かった」などのご意見をいただき、とても励みになっています。今後もキャラバン隊活動に参加し、理解啓発に励んでいこうと思います。(尾崎 浩)

令和 8（2026）年度事業計画

I はじめに

長崎県手をつなぐ育成会は昭和34年（1959年）に長崎市と佐世保市の育成会が母体となって結成され、今年が67年目を迎えています。

そのような中で、令和7年12月に第34回県大会大村大会を開催いたしました。令和元年からの新型コロナウイルスの影響等により、平成30年に開催した島原大会以来、実に7年ぶりに県下各地より参集いただき盛会のうちに終えることができました。

また、令和7年9月14日から11月30日までの78日間、第40回国民文化祭、第25回障害者芸術・文化祭が統一名称「ながさきピース文化祭」として開催され、県下の各市町においても文化芸術によるまちづくり、平和の継承、心のバリアフリーの推進等の取組みを通し、様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、互いに個性を発揮し、認め合い、共に楽しむことにより、社会を構成する一員であることを再認識し、相互の理解をより一層深める契機となったのではと思っています。

県育成会の組織運営においては、地域育成会における会員の減少が続いており、そのため退会する施設育成会も現れています。全育連においても現状の会員減少が続けば10年後には組織維持ができなくなる極めて危険な状況で、まずは、情報・交流誌「手をつなぐ」の安定的な発刊が困難となり、その後事務局が物理的に維持できなくなると発信しています。

知的障害の全国組織は唯一全育連のみであり、組織の消滅はあってはならない重大なことであり、令和8年度の事業計画には、情報・交流誌「手をつなぐ」発刊規模の現状維持、都道府県、市区町村育成会における会員減少に歯止めをかける取組みとして、「団体賛助会員の仕組みを活用した会員増強活動」が、入会のメリットを追加され、再度強力な展開について提案されています。

このような現状に鑑み県育成会としても、団体賛助会員の仕組みの活用について、市町の地域育成会と連携し、重点的に取り組みます。私たち育成会の運動の柱である障害のある人の権利擁護と政策提言の活動を継続していくためにも、この団体賛助会員の仕組みを活用し、再活性化に向けた取組みを共に進めていきたいと思っています。

またキャラバン隊による知的・発達障害の疑似体験「障害理解啓発研修」はアンケートの内容からも高く評価して頂いており、長崎市育成会の協力により、諫早市、島原市においても結成され、活動の場が広がりつつあります、今年度はさらに結成される地域育成会が増えるよう取組みを強化します。地域育成会が独自に本研修を実施することで、障害理解と育成会活動への関心が高まり入会に繋がることを願っています。

また、就学中の保護者向けには、今年度も引き続き要請に応じ、障害基礎年金学習用DVDを活用して説明会を開催する等、入会に繋がる活動を推進してまいります。

知的障がい児者・自閉症児者の 生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
 - 就労に関する相談支援
 - 権利擁護に関する相談支援
- の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための病气やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事者事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約特約

主な補償内容

病气やケガで入院したとき
入院給付金

病気で死亡したとき
疾病葬儀費用保険金

虐待・逮捕・勾留に対応するとき
弁護士費用等補償 ※プランによって補償します

ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

賠償責任を負ったとき
個人賠償責任保険金

就労中に他人にケガをさせたり物を壊してしまったとき
職業従事者事故対応費用補償 ※プランによって補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

ジェイアイシー九州

〒810-0001 福岡市中央区天神4-6-7
天神クリスタルビル14階
TEL：092-791-7561 FAX：092-791-7562
受付時間：午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社

<https://www.aig.co.jp/sonpo>

福岡支店

〒810-0041 福岡市中央区大名2-4-35 富士火災福岡ビル
TEL：092-718-7000
受付時間：午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

ながさき知的障害児者生活サポート協会

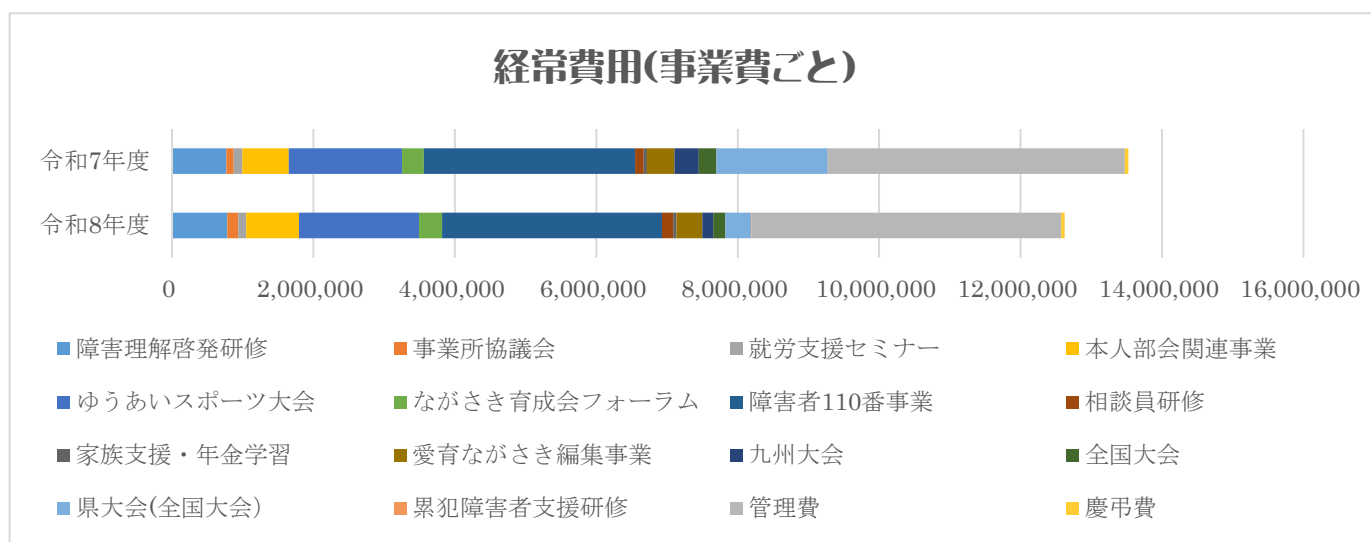
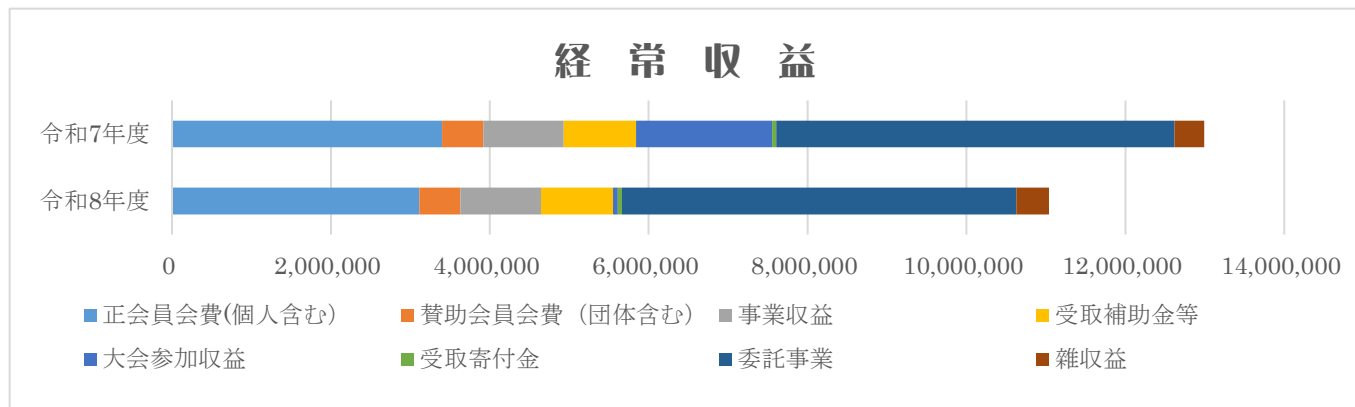
〒852-8134 長崎市大橋町19-19
長崎市手をつなぐ育成会内
TEL：095-845-5668 FAX：095-845-5664
受付時間：午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2019年11月現在の内容です。(D-004329 2021-03)

令和8年度 長崎県手をつなぐ育成会 予算(概要案)

単位：円

経常収益		経常費用（事業費ごとに換算）	
受取会費	3,629,000	障害理解啓発研修	781,000
正会員会費	3,070,000	事業所協議会	156,000
個人会員会費	44,000	就労支援セミナー	111,500
賛助会員会費	365,000	本人部会関連事業	749,500
団体賛助会費	150,000	ゆうあいスポーツ大会	1,696,000
事業収益	1,015,000	ながさき育成会フォーラム	326,000
受取補助金等	908,000	障害者110番事業	3,108,000
大会等参加収益	60,000	相談員研修	158,000
受取寄付金	50,000	家族支援・年金学習会	48,000
委託事業	4,967,650	愛育ながさき編集事業	366,000
雑収益	410,004	九州大会	153,000
		全国大会	173,000
		県大会大村大会	360,000
		累犯障害者支援研修（TS）	10,000
		管理費	4,376,143
		慶弔費	50,000
経常収益計	11,039,654	経常費用計	12,622,143



令和 8(2026)年度 年間計画

事業等の関係で変更になることがあります。

月	日	曜	活動内容	月	日	曜	活動内容
4	17	金	第1回九育連役員会(熊本市)	10	16	金	ながさき育成会フォーラム (長崎県総合福祉センター)
5	13	水	県育成会監査				
	16	土	ゆうあいスポーツ大会準備	23	金	}	全国障害者スポーツ大会(青森県)
	17	日	第47回ゆうあいスポーツ大会 (諫早市多良見町なごみの里運動公園)	26	月		
	21	木	長崎県手をつなぐ事業所協議会	31	土	}	全国大会神戸大会懇親会 全国育成会連合会全国大会(神戸市)
	31	日	第26回県障害者スポーツ大会	11	1		
6	6	土	第1回県育成会理事会	12	木		全国啓発キャラバン隊研修(近江八幡)
	20	土	長崎県育成会定時総会 (出島メッセ長崎)	13	金		第2回県育成会理事会
	26	金	全国育成会定時総会(東京)	21	土		障害理解啓発研修(西海市)
7	19	日	} 知る見るプログラム (国立諫早青少年自然の家)	12	2	水	障害者110番法律相談(雲仙市)
	20	月			12	土	
	24	金	地域課題解決&相談員研修 (諫早市社協調整中)	13	日		長崎県障害者芸術祭(新上五島町)
				16	水		障害者110番法律相談(島原市)
8	22	土	知的障害理解啓発研修(大村市)	1	13	水	障害者110番法律相談(対馬市)
	23	日	わたぼうしコンサート2026(長崎市) 九州大会熊本大会	23	土		障害理解啓発研修(諫早市)
				27	水		障害者110番法律相談(松浦市)
9	13	日	全国事業所協議会広島大会	2	4	木	障害者110番法律相談(長与町)
	19	土	知的障害理解啓発研修(壱岐市)	3	中旬以降	}	正会員代表者会議 全国育成会フォーラム・行政説明 (オンライン・事前収録配信)
	26	土					
				19	金		第3回県育成会理事会

長崎県育成会 定時社員総会

6月20日(土)13:30開始

(理事・監事・社員及び一般会員)

出島メッセ長崎 会議室 101

13:30~13:40 会長挨拶

13:40~14:20 議事

14:20~14:30 休憩

14:30~16:00 「育成会の活性化(団体賛助会員募集
の又村常務理事オンライン説明あり)」

意見交換

16:00

閉会

き 輝らっ人

～不安な気持ちに寄り添う～

長崎県ペアレントメンター派遣事業

「ペアレントメンターながさき」

「ペアレントメンター派遣事業」とは「親が行う親自身のための支援」をする活動です。発達障害児の養育経験のある保護者が、少し先を行く先輩として、相談対応や必要な情報の提供、自らの育児経験の紹介等を行い、地域の中での社会的、心理的な孤立を予防し、支援することを目的としています。また、地域の支援者に対しても、保護者としての体験を基にした啓発活動を行っています。

長崎県では県子ども家庭課の事業として、平成 25 年より事業が始まりました。活動は「ペアレントメンターながさき」という名称で行っており、メンバーは全員、長崎各地で発達障害児を育ててきた親です。

「ペアレントメンターは専門家ではない・親の見本ではない・問題解決を目標としない」の『3 つのない』をスローガンにして活動しています。県内を 3 つの地区に分けて、長崎・西彼地区 17 人、県央・県南地区 7 人、佐世保・県北地区 7 人の 合計 31 人(令和 7 年度)が、活動に関する専門的な研修に参加し、県の認定を受け活動しています。その内、10 人が県内各地の手をつなぐ育成会会員です。

「ペアレントメンターながさき」の現在の活動内容は主に①派遣事業②個別相談事業③ペアレントメンターCafé の 3 つです。

- ①派遣活動は、行政、医療機関、福祉の事業所や学校、親の会など、発達障害児者に関わる団体からの依頼を受けて、2 名以上のペアレントメンターを派遣し、保護者会や支援者向け研修会で子育ての体験をお話ししたり、依頼者のご希望をうかがい活動を行います。
- ②個別相談事業は、予約制の相談会です。現在、会場は長崎市と佐世保市の 2 か所、ホームページやEメール・電話より個人からの相談の予約を無料でお受けしています。
- ③ペアレントメンターCafé は、令和 5 年より始まった事業で、予約不要・参加費無料のお話し会です。令和 7 年度は県内の主要機関 3 か所、離島を含む 8 市町で、17 回開催しました。年々開催を楽しみにして下さる参加者が増えてきたように感じています。



「話してわかってもらえた」「うなずいてもらえてほっとした」同じような経験がある親同士だからこそ、不安な保護者のお話しをしっかりと伺いたいと思います。また、支援に携わる方々に、発達障害児・者の家族の思いをお伝えできたらと思います。

「ペアレントメンターながさき」で活動してみたい!と思う方は、長崎県主催で数年に1度程開催される「新規養成研修会」に参加する必要があります(参加条件あり)。まずは所属団体へお尋ね下さい。



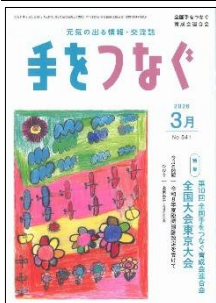
詳しい活動、派遣申込方法、個別相談・メンターCafé の開催予定、ペアレントメンターの子育て体験談の動画など、「ペアレントメンターながさき」のホームページをご覧ください。

まだまだ、認知度が高いとは言えない「ペアレントメンター」ですが、県内各地に仲間を増やしながら、ちょっと気になる子をもつご家族が誰かに話したい時、相談役としてペアレントメンターを思い出してもらえるよう、活動を続けていきたいと思っています。

リーフレットと QR コード

《長崎県手をつなぐ育成会行事のお知らせ》7月まで

行 事	月 日	場 所	概 要
長崎県ゆうあい スポーツ大会	5月17日(日) (9:00 集合)	なごみの里運動公園 (諫早市多良見町)	9:30~9:50 開会式(挨拶・準備運動) 10:00~13:55 各種目(昼食 11:55~12:40) 13:55~14:00 閉会式
長崎県手をつなぐ 事業所協議会	5月21日(木)	長崎県総合福祉センター 4階交流室	13:00~13:20 挨拶、決算報告・予算審議 13:20~16:00 市町育成会検討課題等
長崎県 障害者スポーツ大会	5月30日(日)	県内各会場	陸上競技・フライングディスク・ボッチャ・ユニカール・卓球・ア ーチェリー・サウントテーブルテニス・水泳・ホウリング
長崎県育成会 第1回理事会	6月6日(土)	長崎県総合福祉センター 4階交流室	13:00~16:00 事業報告、決算他
長崎県育成会 定 時社員総会	6月20日(土)	出島メッセ長崎 会議室101	13:30~16:00 挨拶、議事、意見交換など 参加者:理事・監事・社員・一般会員
知る見るプログラム	7月19日(日) ~20日(月祝) (日帰りも可)	国立諫早 青少年自然の家	19日 11:00~13:00 オリエンテーション・昼食 13:00~21:00 ワークショップ・夕食・入浴・交流会 20日 6:30~12:00 朝食・ワークショップ 12:00~14:00 昼食・閉講式など(一例)
地域課題解決 & 相 談員研修	7月24日(金)	諫早市社会福祉センター 2階小会議室(予定)	13:00~16:00「障害のある方が、福祉サービスを受 ける手順や福祉サービスの種類など ~障 害福祉の制度をわかりやすく~」(仮題) 講師:調整中



「手をつなぐ」は、知的な障害のある当事者(本人・家族)に関しての教育・福祉・労働等々の諸施策を中心に、全国手をつなぐ育成会連合会が編集・発行している月刊誌です。文字どおり、全国の仲間が「手をつなぐ」のために役立つ情報誌です。

年間3,900円 B5版48ページ

長崎県手をつなぐ育成会までご連絡ください。

お申込みは TEL 095-846-8730 FAX 095-846-8738 へ

障害のある方向け 総合保険

あ！それうちかもと思った方！

入通院の悩み

- ・突然の病気やケガが心配
- ・入院時の出費に備えたい
- ・障害があっても入れる保険を探している

相談しにくい悩み

- ・虐待や差別を受けた
- ・詐欺に遭わないか心配

賠償の悩み

- ・パニックになって他の人にケガをさせてしまったらどうしよう
- ・デイサービスでヘルパーさんのメガネを壊してしまった

ぜんちの あんしん保険 障害のある方とご家族へ
少額短期健康総合保険(病告知型) 2019年創設

- ・病気とケガにしっかり備える
- ・告知や障害者手帳は不要
- ・入院日額最高1万円
- ・権利擁護費用補償
- ・総合生活保険(個人賠償責任補償)で賠償責任を補償(国内は東京海上日動の示談交渉サービス付き)

ぜんちの こども傷害保険 特別支援教育を必要とされている方へ
権利擁護賠償付傷害保険 2019年創設

- ・特別支援教育を必要とされているお子様に
- ・ケガによる入通院を日額保障
- ・権利擁護費用補償
- ・総合生活保険(個人賠償責任補償)で賠償責任を補償(国内は東京海上日動の示談交渉サービス付き)

詳しい資料のご請求・お問い合わせはこちら

241X-004230(2024年12月作成) Z0122411R00

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)

ぜんち共済株式会社
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5
南栄ビル4階(少額短期保険)第14号 九段北325ビル4階

平日10時~16時
土日・祝日・年末年始を除く
URL: <https://www.z-kyosai.com/>

0120-322-150

有限会社トータル・サービス
〒850-0033
長崎県長崎市万才町6-35大樹生命長崎ビル5F
TEL: 095 827 7705 FAX: 095 832 2580